

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社高松製作所					
代表者名	氏名	高松 英一		役職名	代表取締役社長	
主たる事務所の所在地	長野県埴科郡坂城町上平小網2400-1					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	2 6 生産用機械器具製造業				
主たる事業の概要	自動車や建設機械の油圧機器部品の加工					
制度に該当する要件	☐	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	☐	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	☐	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	☒	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	482. 23	463. 13			
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	973. 03				
調整後排出量	t-CO ₂	973. 03	934. 50			
その他ガス排出量合計	t-CO ₂					
自動車の台数	台	5				
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂					

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2023	年度	計画期間	2024	年度～	2025	年度
報告対象年度		年度					

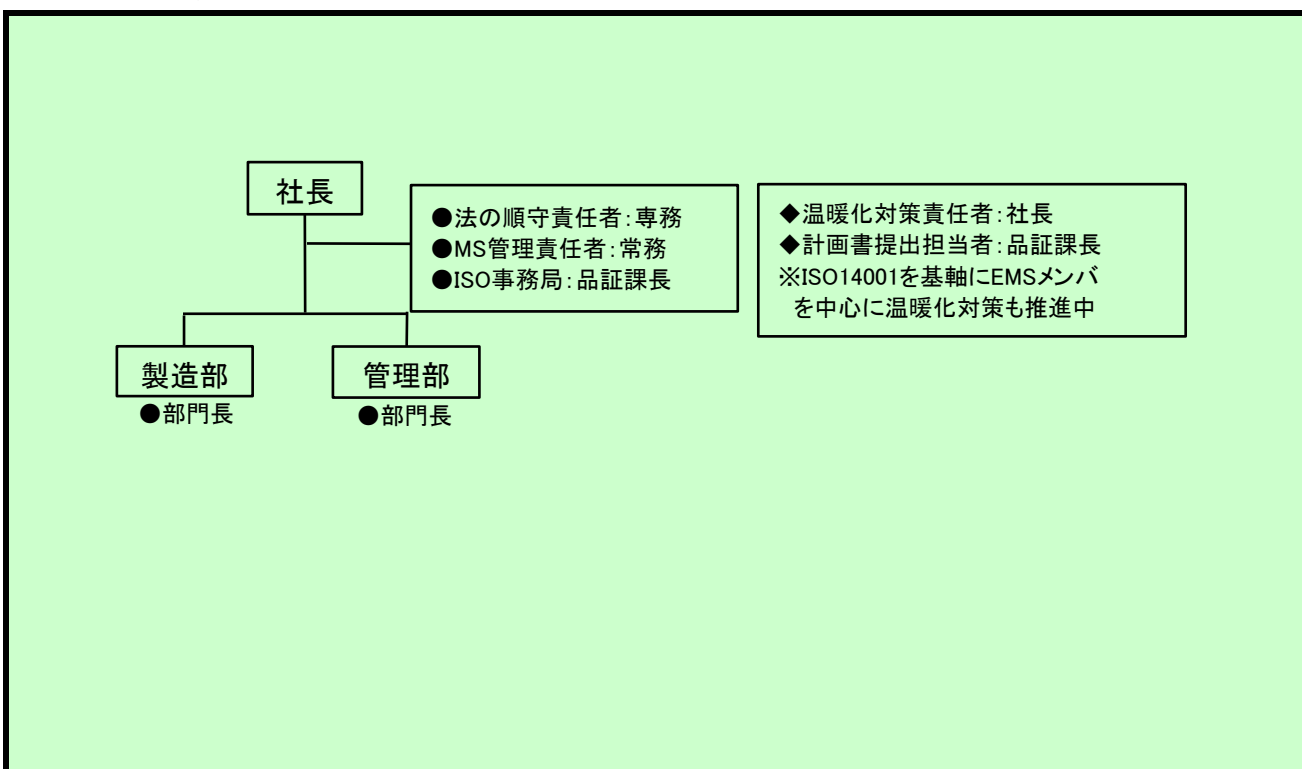
3 計画書（報告書）の公表方法等

☐	ホームページ	閲覧可能場所：株式会社高松製作所 閲覧可能時間：9：00～16：00 担当部署：総務課 連絡先：0268-82-3029
☒	印刷物の閲覧	
☐	その他	

4 温室効果ガスの排出の量の削減のための基本方針

当社は、信州の恵まれた自然環境を次世代に引き継ぐべく、環境、社会、経済との調和の取れた、ものづくりを積極的に推進し、社会の発展と地球環境の保全に貢献できる企業を目指します。環境影響のうち、以下を重点管理項目として取り組みます。 1) 電力の効率的利用による温室効果ガス排出量の削減 2) 使用する油剤の排出量削減、及び工場外への流出防止 3) 納入/工程内不良削減による鋼材・資材の有効利用						
2050ゼロカーボンに向けた中長期的な目標等						
目標等の有無	有	目標年度	2050	年度	削減目標	温室効果ガス排出量：ゼロを目指す。
削減計画の概要	①電気使用量によるCO2の排出量を削減(年2%削減) ②廃棄物[廃油]を削減(年2%削減)					
イニシアチブ参画状況	☐ SBT	☐ RE100	☐ 再エネ100宣言 RE Action	☐ その他		

5 の 1 温室効果ガスの排出の量の削減のための組織体制



5 の 2 温室効果ガスの排出の量の削減のための会議体等の名称及び開催頻度

1) 中期経営計画策定会議	1回/年
2) 重点課題管理策定会議	1回/年
3) 実施計画管理策定会議	1回/年
4) トップマネジメントレビュー会議	1回/年
5) 役員会議	1回/週

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量		t-CO ₂			単位	
2023年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2025年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2024年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2025年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
—年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

6 の 3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基 準 年 度	基準排出量		t-CO ₂			単位	
2023 年度	調整後排出量			基準原単位		t-CO ₂ /	
目 標 年 度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2024 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
一 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
Ⅰ～Ⅱ	Ⅰ-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	Ⅰ-2	エコドライブの励行						
Ⅲ	Ⅲ-1	次世代自動車の導入計画						
Ⅳ	Ⅳ-1	次世代自動車の導入						

8 排出の量の削減目標達成のための具体的な措置

番号	区分	設備等	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	空調機	空調設備の更新による消費電力削減	2024～ 2025	16		
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 再生可能エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

再生可能エネルギー源	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	0	0			
水力	kW	0	0			
風力	kW	0	0			
バイオマス	kW	0	0			
太陽熱	kW	0	0			
その他	kW	0	0			
蓄電設備	kWh	0	0			

10 再生可能エネルギー電気等及びクレジットの利用の計画及び状況

種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書(電力)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
グリーンエネルギー証書(熱)	GJ/年					
FIT非化石証書	千kWh/年					
非FIT非化石証書(再エネ指定)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
J-クレジット	t-CO ₂ /年					
県が認証したクレジット (森林CO ₂ 吸収評価認証制度等)	t-CO ₂ /年					
再生可能エネルギー電気 (自家消費、PPA、自己託送等)	千kWh/年					
再生可能エネルギー電気 (小売電気事業者からの買電)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					

1 1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

(所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	1	973.03						
合計	1	973.03						

1 2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績

(t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計				

1 3 次世代自動車の導入状況

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0			
電気自動車	0			
燃料電池自動車	0			
クリーンディーゼル自動車	1			
その他 (ハイブリッド等)	1			
合計	2	0	0	0
自動車総数	5			
次世代自動車導入割合	40			

1.4 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	社員寮を工場近隣に整備し、8名が徒歩通勤している。新たに寮を取得し来期は11名に拡大予定
自転車の利用促進	なし
来客者の交通対策／社用車等の移動に伴う取組	なし
電気自動車用充電設備の設置／電気自動車の導入	なし
物流の合理化	共同納入便の利用

1.5 環境配慮活動状況

環境配慮活動		活動内容の詳細	
		実施内容	実施年度
☐	SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している	
☐	TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）支持を表明している	
☒	環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している 名称 IS014001	2023
☐	グリーンボンド・ESG投資	グリーンボンドを発行している又はESG投資を実施している	
☐	ZEB	の認証を取得している	
☐	ダイヤモンド・リスポンス（DR）	電気の需要の最適化に資する措置（上げDR・下げDR）を実施している	
☐	その他		

1.6 自由記載欄（特に重点的に取り組んだ内容やアピール事項等）

●フェーズⅠ：2023年9月 IS014001認証取得 『豊かな環境を次の世代に引き継ぐ』ために当社は、品質システム(QMS)に環境システム(EMS)を組み込み、より効果的に効率良く運用できるシステム構築を行い、第三者認証機関から認証を取得致しました。 ●フェーズⅡ：2023年9月～2024年3月 主催：長野県工業技術総合センター ①カーボン排出量の可視化支援：Scopeの算定方法や算定ツールを提供頂き、Scope1(直接排出量)、及びScope2(間接排出量)を算定することが出来ました。 ②カーボン排出量の削減支援：「省エネに向けた電力及びエア流量の見える化」をテーマ活動として、主要設備の消費電力調査や工場エア圧力分布を調査頂いた。その結果より、エア漏れ箇所を対策することが出来、圧損箇所が明確になり、エア配管改善による効果予測も算出頂き、成果発表会を行うことが出来ました。
